



駒本の力

駒本小学校(家)

教育活動紹介便り

NO. 30

平成28年9月1日

「ふれあい運動会」から「秋季大運動会」に

校長 田中 克昌

9月1日に子どもたちは皆、元気な顔で登校してきました。本年度の駒本小の2学期は、運動会や学習発表会と大きな行事を予定しています。1学期に各クラスでは、学級づくりに努力し、各クラス共に安定した学習と生活ができています。校内を見回っていると、全てのクラスで落ち着いてしっかりと学習できていたことは、1学期の大きな成果でありました。この1学期の成果を受けて、2学期は行事で育てる2学期となっていきます。

翌週から、10月8日(土)に実施される運動会の練習が始まります。今年度から駒本小では、2年間続いた春の「ふれあい運動会」から、もともと実施していた秋に運動会を移し、児童の心身の発達状況やこれまでの課題等を踏まえ、より充実した安全な運動会を実施します。さらに、児童数の増加に伴い、従来の運動会の内容を見直し変更をいたします。運動会の名称も「ふれあい運動会」から「秋季大運動会」としました。変更点は以下の通りです。

〔4年生の一輪車演技〕一輪車の表現演技については、3・4年生で実施していましたが、児童数の増加から4年生単独の演技とします。3年生は学年単独で表現演技を行います。ただし、一輪車は特色ある教育活動として、2年生から体育の時間で取り組みます。

〔リレーを低学年・高学年の2つに分けます〕

今までは全学年一緒に紅白リレーを行っていたのですが、これも児童数の増加から、午前中に低学年リレー、午後に高学年リレーと2つに分けました。

〔親子競技の変更〕

上記の種目変更に伴い、2種目増えることになりました。さらに、児童数の増加によって、徒競走にかかる時間が増えます。しかし、時間は限られていますので、2つの親子競技を削減します。ただし、保護者参加の種目も残したいということから、保護者のみの「校長杯綱引き」を実施します。

〔5・6年生の組体操の見直し〕

より安全な運動会を実施するために、昨年から、5・6年生の組体操の内容を児童の発達状況を踏まえ、演技内容と見直しと、補教体制の整備(担任以外の指導者を練習に割り当てる)、全教員の指導者研修の実施(夏休みに実施)の3点に取り組んでいます。今年度も同様に3点について取り組んでいきます。演技内容についても、今までの組体操から集団行動等の内容が加味されていきます。

以上のような変更を行います。駒本小は以前は各学年共に単学級でした。小規模校としての特色を生かして、親子競技を実施することで、名称も「ふれあい運動会」としていたのですが、様々な状況の変化から、名称を「秋季大運動会」と改めることにしました。保護者の皆様、地域の皆様にはご理解とご支援のほど、よろしく願いいたします。

教科公開講座 9月24日（土）にご参加ください

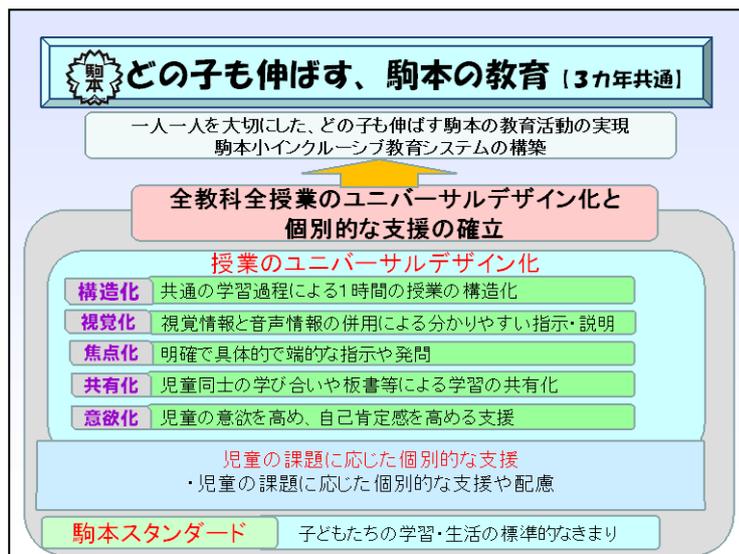
9月24日（土）は、土曜授業公開の日ですが、この日には「教科公開講座」を実施いたします。本年度も昨年度と同様に、2校時に研究主任の田島主任教諭から、「どの子ども伸ばす、駒本の教育『本校の算数の授業スタイル』」について説明いたします。

1時間目と3.4時間目には各クラスで授業公開を行いますので、本校の算数の授業スタイルについて実際に参観してください。是非とも多数の保護者の皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。

本校では、「どの子ども伸ばす、駒本の教育」というテーマで昨年度より、研究を進めており、本年度より区の研究協力校の指定を受けています。「どの子ども」というのは、本校に在籍している全ての子どもたちです。本校は、特別支援教育学級(むくの木学級)と通級指導学級(いずみ学級)、通常の学級の3種の学級で構成されている学校であり、インクルーシブ教育システムの構築を目指しています。それらの点から、本校は特別支援教育の拠点校という特色をもっています。ただし、本校が目指しているインクルーシブ教育システムの姿は、障害のある子どもを含む全ての子どもに対して、子ども一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育的支援を行う教育です。

「伸ばす」というのは、学力(基礎学力、思考力、判断力、表現力、問題解決能力)であり、体力です。もちろん、豊かな心の育成も重要です。そして、「駒本の教育」とは、インクルーシブ教育システムや特別支援教育の考え方を基盤とした、授業のユニバーサルデザイン化や個に応じた支援によって、どの子ども分かり、学びがいのある教育活動を確立することです。

さらに、来年度より通級指導学級の指導形態が、本校への通級から、本校の教員が各校に出向く、特別支援教室という巡回型の指導形態に徐々に変化していきます。ですから、この機会に全ての学校で、ユニバーサルデザイン化や個に応じた支援について考えなければなりません。そのためには、本校では、「特別支援教育拠点校として、『どの子ども伸ばす』



す』教育の具現化を図り、成果を積極的に情報発信し、他校に寄与すること。」を学校のミッションとしています。駒本小で研究した内容を積極的に他校に発信し、区内全ての学級で、日常的に授業のユニバーサルデザイン化や個に応じた支援が展開されていくことを目指しています。

教科公開講座を通して、様々なご意見やご感想をいただけますよう、よろしくお願いいたします。